

知・技の創造

ものづくりの大学究

▷16◁

ものづくりの大学は研究・教た。その目的は、ものづくり育・地域が三位一体となった大学の2つの学科、すなわち「ものづくり教育の拠点」を製造・建設両学科協働で世界目指してはいますが、本稿では、的を称される住宅や工業その一事例として「原寸プロ 製品を原寸で忠実に再現し、プロジェクト実行委員会」の活動 ホンモノのエッセンスを手触を紹介しします。

2010年6月、当時の神 づみの大学をめぐり、手と頭本武征学長の発案で「学長」を総動員した制作です。プロジェクト「ものづくり大学」第一弾として白羽の矢を立を元気にする企画募集「があてたのが、近代建築の巨匠ルの美した。そこで早速有志で、コルビュジエ（以下、コル）

「世界を変えたモノ」に学ぶの「カップ・マルタン」の休暇原寸プロジェクト実行委員 小堀一です。南仏、イタリヤ会」なるものを立ち上げましとの国境近く、地中海の保養

地リウイエラにあるコル夫妻の別荘です。建坪5坪弱の10畳ほどの可愛らしい木造の小屋です。1951年暮れ、コル64歳、妻の誕生日に即興で設計、翌1952年に完成した作品です。

年2月下旬、学生10名ととも1から120で、原寸のプリカはもろろんですが、図面からも学生たちの気迫が伝わってきた。設計・確認申請もあつた。12月11日にはバリのネシー個から、ドアレバー、財団から正式にプリカとしてお墨付きをいたたきまし

八代 克彦 建設学科教授

世界を変えたモノに学ぶ



やちる・かつひこ「東京工業大学理工学研究所博士課程退学、工学(博士)。1986年から2年間、中国・西安冶金建築学院(現西安建筑科技大学)に留学。05年ものづくり大学。専門は建築意匠計画。

学長プロジェクト応募にあこと忠実に再現しました。たの、2010年9月に渡仏、仕上げたA3版図面は、建築24、家具1・2、建具54、は、14・15年度の県営下尾シに事前に制作許可を得て、翌金物30の計220枚(縮尺1ラコバト住宅(団地)のリフ

た。原寸プロジェクト第2弾 ウス(1954)のクローゼットを再現しました。初年度は3戸分を制作。2

年目は5戸で、キッチンカウターについては、そのプリカを大学本館ロビーに展示中ですが、団地の狭い階段でも搬入がスムーズにいくよう組立式に改良しました。制作担当は1・2年生ですが、家具や大工部門の技能五輪20版ともいえる「若年者ものづくり競技大会」の優勝者を含む腕に覚えのある男女精鋭たちです。

そして第3弾。稲永忍前学長に背中を推していたとき、3月上旬、コルが両親のため1983年に設計したスイスのシマン湖畔にある「小さな家」の実測調査に行つてきました。第3弾は長丁場になりそうですが、一連の作品を含め、是非、現場見学にお越

し下さい。

埼玉経済

企業、団体、商店街などの話題や情報をお寄せください
TEL 048-795-9161 FAX 048-653-9
keizai@saitama-np.co.jp